



津野町ゼロカーボンシティ宣言

～2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して～

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、これまで経験したことのないような規模での自然災害が頻発化し、各地に甚大な被害が発生しています。

このような気候変動への対応として、2015年に合意されたパリ協定では「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が掲げられ、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において「気温上昇を1.5℃に抑えるためには、2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

津野町は、清流四万十川、新莊川そして四国カルスト天狗高原などの豊かな自然に育まれた町であり、津野町が将来像として掲げる「風とともに地域きらめく協働のまち」の実現のためにも、豊かな自然を守り、後世へとつなげていくことが責務です。

本町においても、このような地球規模の課題に対し、町民の理解と協力のもと「家庭」、「事業所」、「行政」など、CO₂を排出する、あらゆる部門を対象として、温室効果ガスの排出量削減と森林整備による二酸化炭素の吸収により、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言します。

令和5年6月7日

高知県津野町長 池田三男